

バス乗降(OD)調査及び自治会意向調査

バス乗降(OD)調査及び自治会意向調査

1. バス乗降(OD)調査	
1.1 概要	1
1.2 集計結果	3
(1) 停留所別乗降者数	4
(2) 公共施設別乗降者数(Mバス)	8
(3) 目的地別乗降者数(路線バス)	20
2. 自治会意向調査	
2.1 概要	22
2.2 集計結果	26
(1) バスサービスの充実度 / バス利用促進策の意向停留所別	28
(2) バスを利用して行きたい場所	30
(3) 目的地別乗降者数(路線バス)	52

1. バス乗降(OD)調査

1.1 概要

目的：ローカルバス利用の実態を統計的に分析し、既往の市民満足度調査結果やバス利用実態調査結果等の分析とあわせて、実証運行の際の計画の参考にするほか、サービス水準評価の指標を導くため

調査日：6月19日(金)(Mバスの止々呂美コースは18日(木))

調査対象：公共施設巡回福祉バス(Mバス)の全路線・全便
路線バス(阪急バス)の箕面山麓線(36・37系統)の循環便(14便)

調査方法：バス利用者に対して、乗車時に調査票を配布する
乗車中に調査票の質問に回答してもらい、降車時に回収する

調査項目：利用区間・時間帯、年齢、利用頻度、利用目的(路線バスのみ)

結果：

総利用者数：Mバス(全コース)	862人
西部北コース	212人
西部南コース	175人
中部コース	110人
東部北コース	274人
東部南コース	78人
止々呂美コース	1人
路線バス(循環便)	440人

乗降者数の多い停留所：(100人以上)

Mバス	
みのおライフプラザ	266人
松寿荘	244人
箕面駅前第一駐車場前	176人
市役所前	131人
箕面警察前	127人
路線バス	
箕面	253人
粟生団地	129人

調査票

● Mバス用

Mバスをご利用のみなさまへ 本日は、市内のバス交通の利便性向上を検討するために、公共施設巡回福祉バス（Mバス）のご利用状況の調査を行っております。 誠にお手数ですが、あてはまるところを押し曲げて、お降りの際に<u>降り口の調査員</u>にお渡し下さい。 00000	
あなたの年齢は？	64歳以下 ☐ 押す 1 65～74歳 ☐ 押す 2 75歳以上 ☐ 押す 3
Mバスにはどのくらい乗りますか？	週に3日以上 ☐ 押す 1 週に1～2日 ☐ 押す 2 月に2～3日 ☐ 押す 3 月に1日以下 ☐ 押す 4
ご協力ありがとうございました 箕面市地域公共交通活性化協議会 箕面市地域創造部交通政策課	

● 路線バス用

箕面山麓線(36・37 系統)をご利用のお客様へ 本日は、市内のバス交通の利便性向上を検討するために、箕面山麓線（36・37 系統）のご利用状況の調査を行っております。 誠にお手数ですが、あてはまるところを押し曲げて、お降りの際に<u>降り口の調査員</u>にお渡し下さい。 00000	
あなたの年齢は？	
1 ☐ 押す 14歳以下 2 ☐ 押す 15～64歳	3 ☐ 押す 65～74歳 4 ☐ 押す 75歳以上
36・37 系統にはどのくらい乗りますか？	
1 ☐ 押す 週3日以上 2 ☐ 押す 週1～2日	3 ☐ 押す 月2～3日 4 ☐ 押す 月1日以下
ご利用の目的は？	
1 ☐ 押す 通勤・通学 2 ☐ 押す 通院・通所	3 ☐ 押す 買物 4 ☐ 押す その他
ご協力ありがとうございました 箕面市地域公共交通活性化協議会 箕面市地域創造部交通政策課	

1.2 集計結果

[項目]

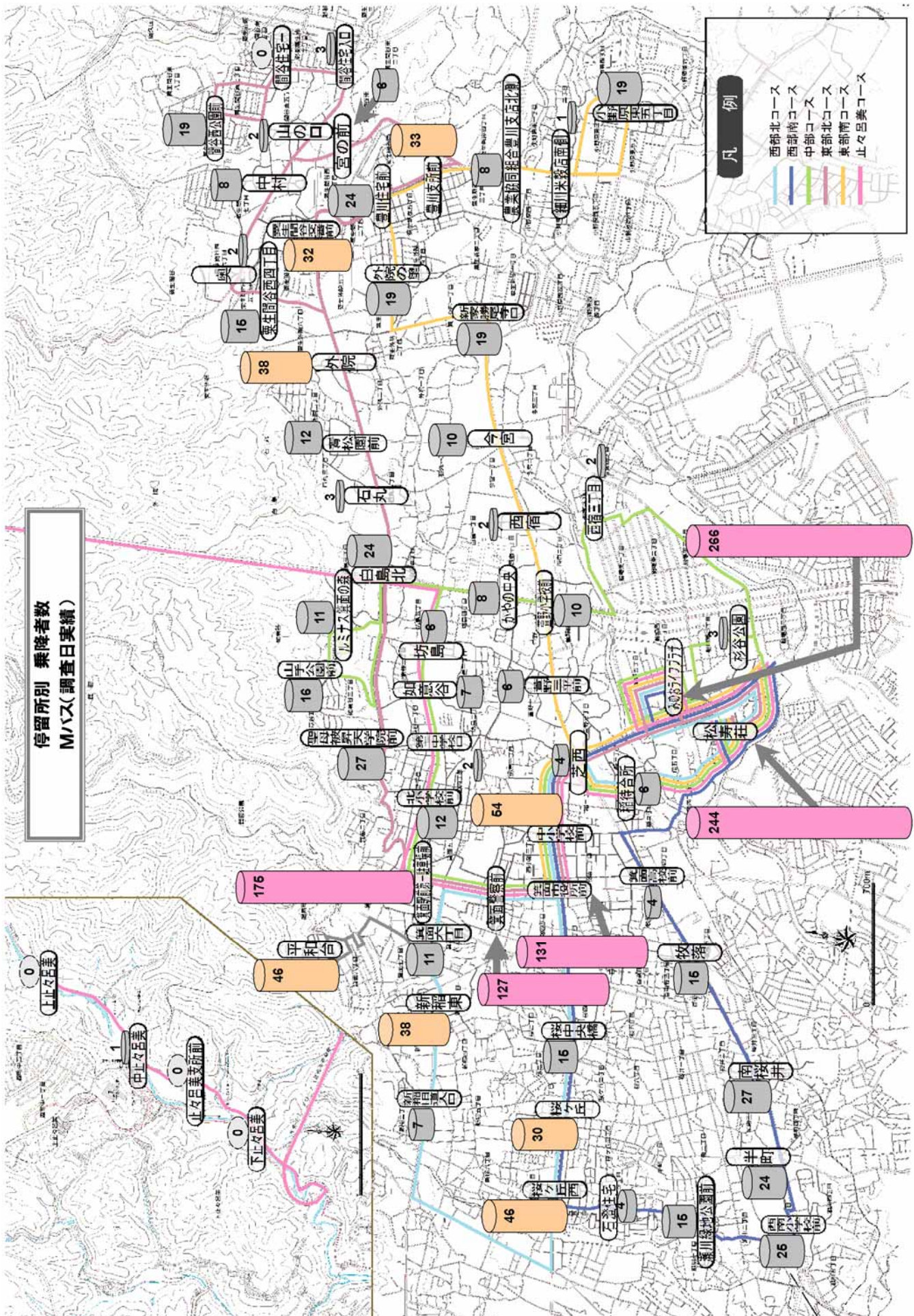
- (1) 停留所別乗降者数 (Mバス・路線バス)
 - Mバス
 - 路線バス
- (2) 公共施設別乗降者数 (Mバス)
 - 箕面文化・交流センター (箕面駅前第一駐車場前)
 - メイプルホール・中央図書館・中央生涯学習センター (箕面警察前)
 - 箕面市役所・グリーンホール (箕面市役所前)
 - 市役所第三別館・ふれあい勤労センター (中小学校前)
 - 市立病院・総合保健福祉センター (みのおライフプラザ)
 - 老人福祉センター「松寿荘」(松寿荘)
- (3) 目的地別乗降者数 (路線バス)
 - 箕面駅、箕面駅周辺商業施設 (箕面)

(1) 停留所別乗降者数

● Mバス

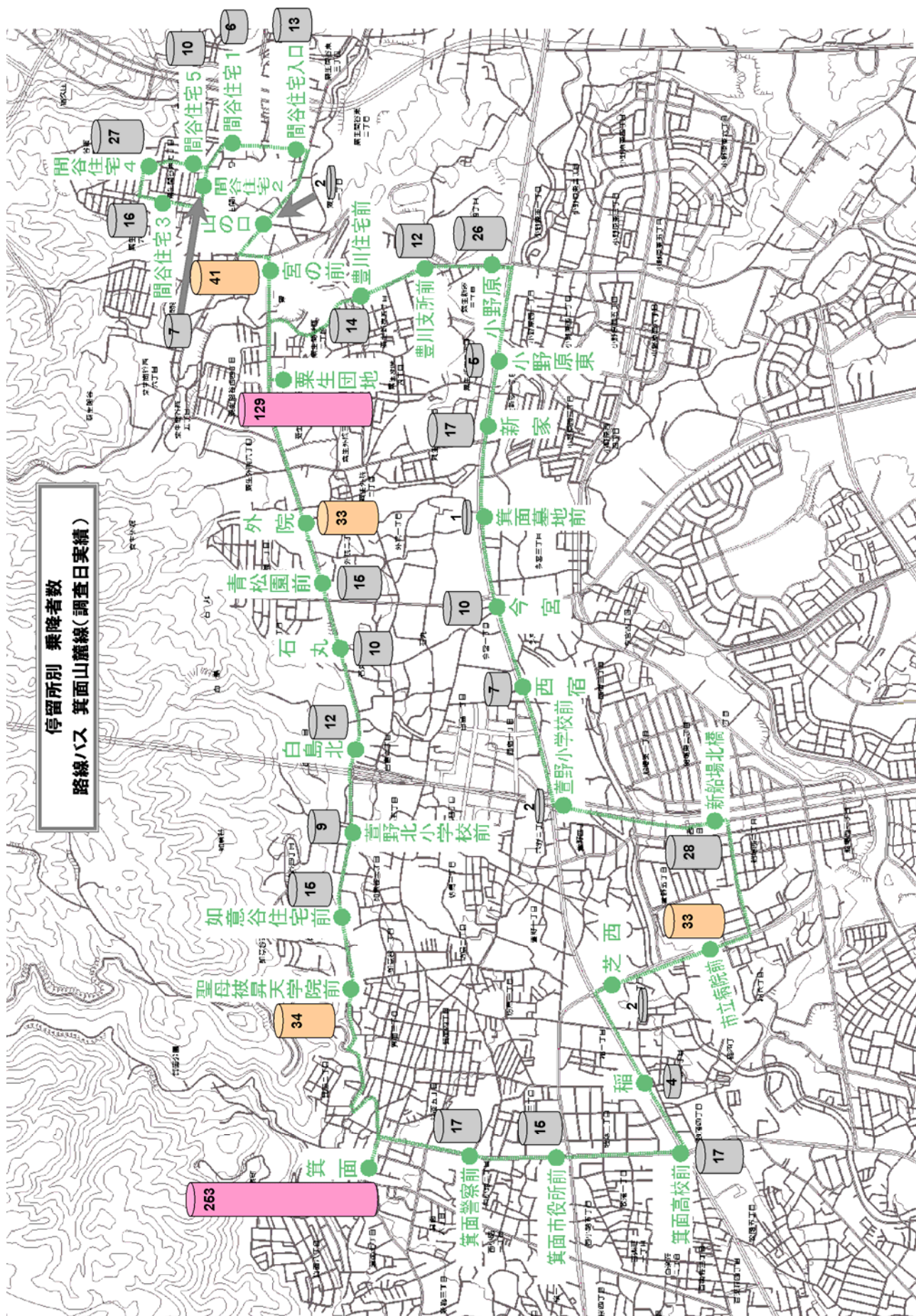
停留所別の乗降者数は、市立病院の最寄りの「みのおライフプラザ」(266人)や老人福祉施設・松寿荘の施設内の「松寿荘」(244人)が特に多く、市役所、メイプルホール、箕面文化・交流センターなどの公共施設の多くが集中している「箕面市役所前」、「箕面警察前」、「箕面駅前第一駐車場前」がいずれも100人以上である。

住宅地側では、「平和台」、「新稲東」、「桜ヶ丘西」、「桜ヶ丘」、「外院」、「栗生間谷交番前」など、主に市西部や市東部の山麓線沿線からの利用者が30人以上と多い。



- **路線バス**

鉄道への乗り換えならびに商業施設のある「箕面」の乗降者数が 253 人で最も多く、「粟生団地」が 129 人で続いている。利用者の大半が山麓線沿いの停留所からの利用である。



(2) 公共施設別乗降者数(Mバス)

- 箕面文化・交流センター（箕面駅前第一駐車場前）

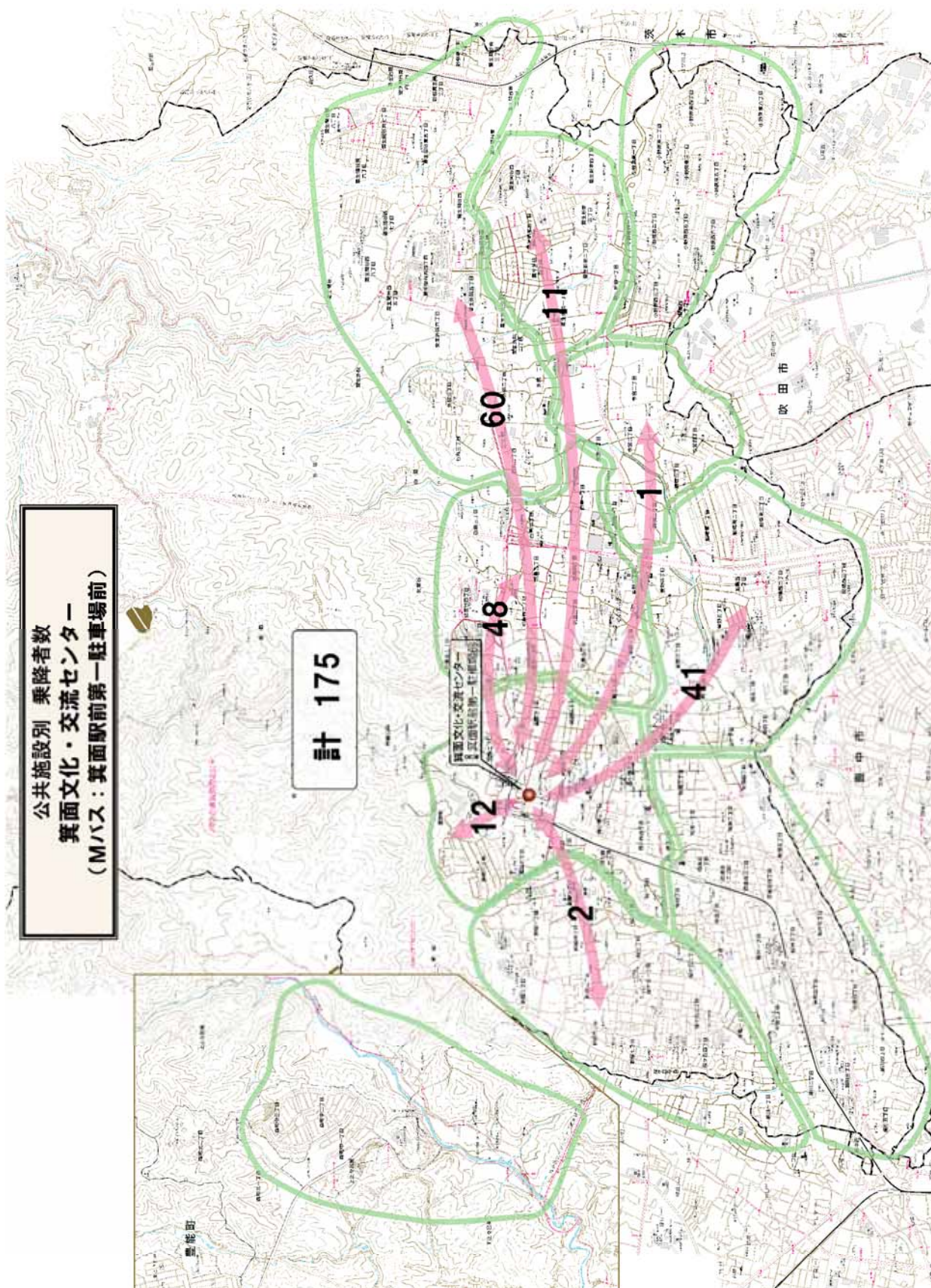
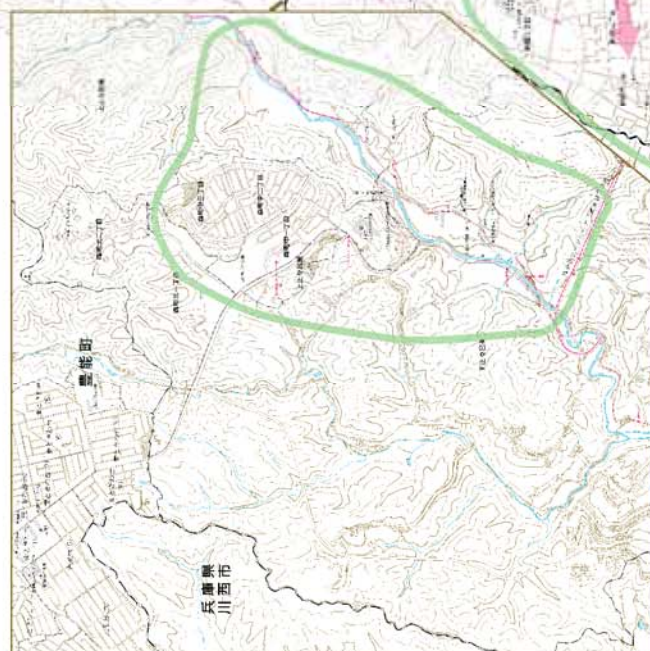
ルート上にあたる西部北、中部、東部北コースの沿線からの利用が多い。

また、Mバス利用者の約2割（19.9%）が「箕面駅前第一駐車場前」で乗降している。

往路もしくは復路において公共施設の利用以外の目的での利用の可能性も考えられるが、乗降者数の多さを踏まえると、市内ローカルバス網の検討にあたっては、主要な目的地となり得ることが考えられる。

公共施設別 乗降者数
 箕面文化・交流センター
 (Mバス：箕面駅前第一駐車場前)

計 175



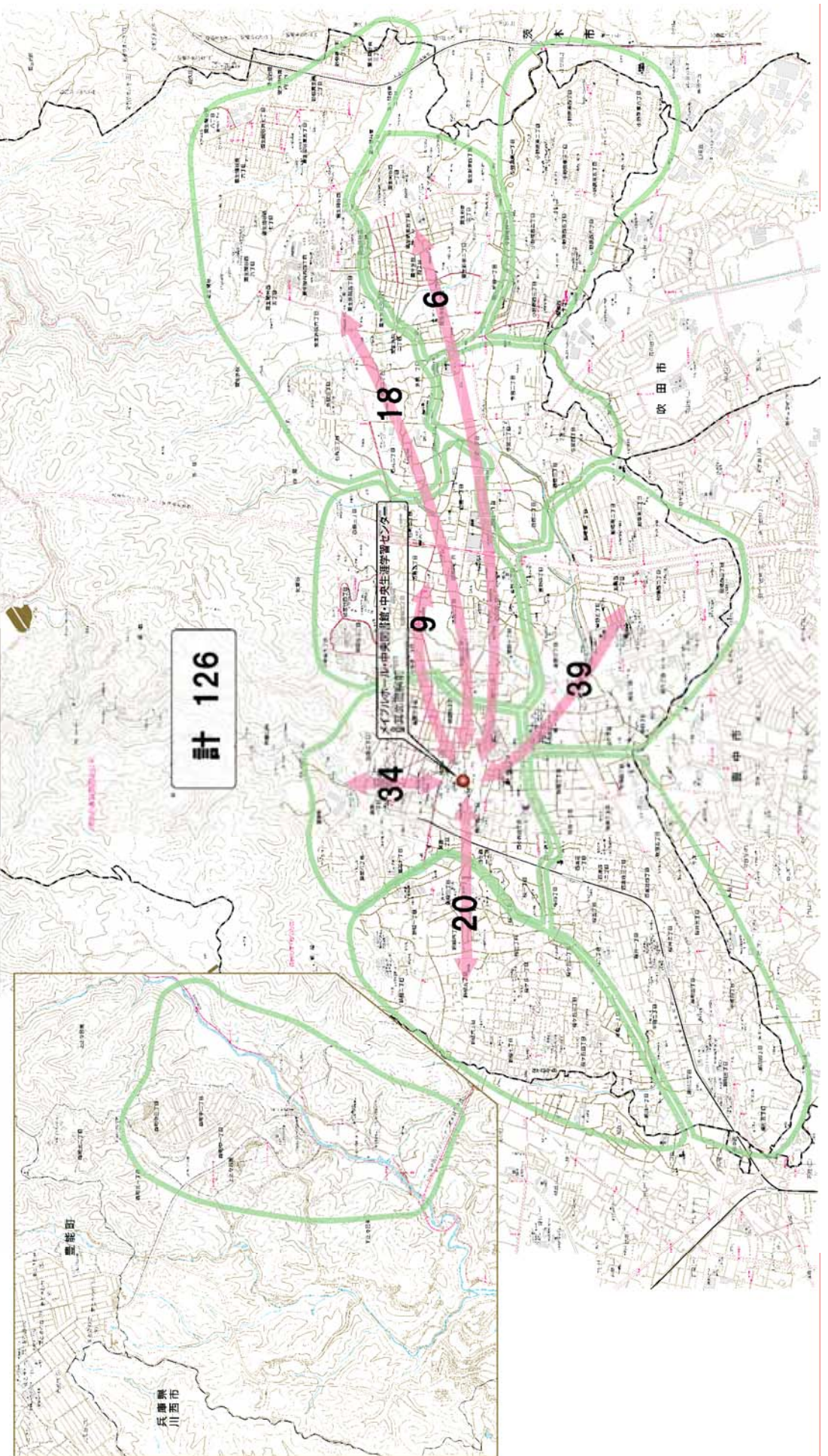
- **メイプルホール・中央図書館・中央生涯学習センター（箕面警察前）**

ルート上にあたる西部北、中部、東部北コースの沿線からの利用が多い。

また、Mバス利用者の約7人に1人（14.3%）が「箕面警察前」で乗降している。

往路もしくは復路において公共施設の利用以外の目的での利用の可能性も考えられるが、乗降者数の多さを踏まえると、市内ローカルバス網の検討にあたっては、主要な目的地となり得ることが考えられる。

公共施設別 乗降者数
メイプルホール・中央図書館・中央生涯学習センター
(Mバス：真面警察前)

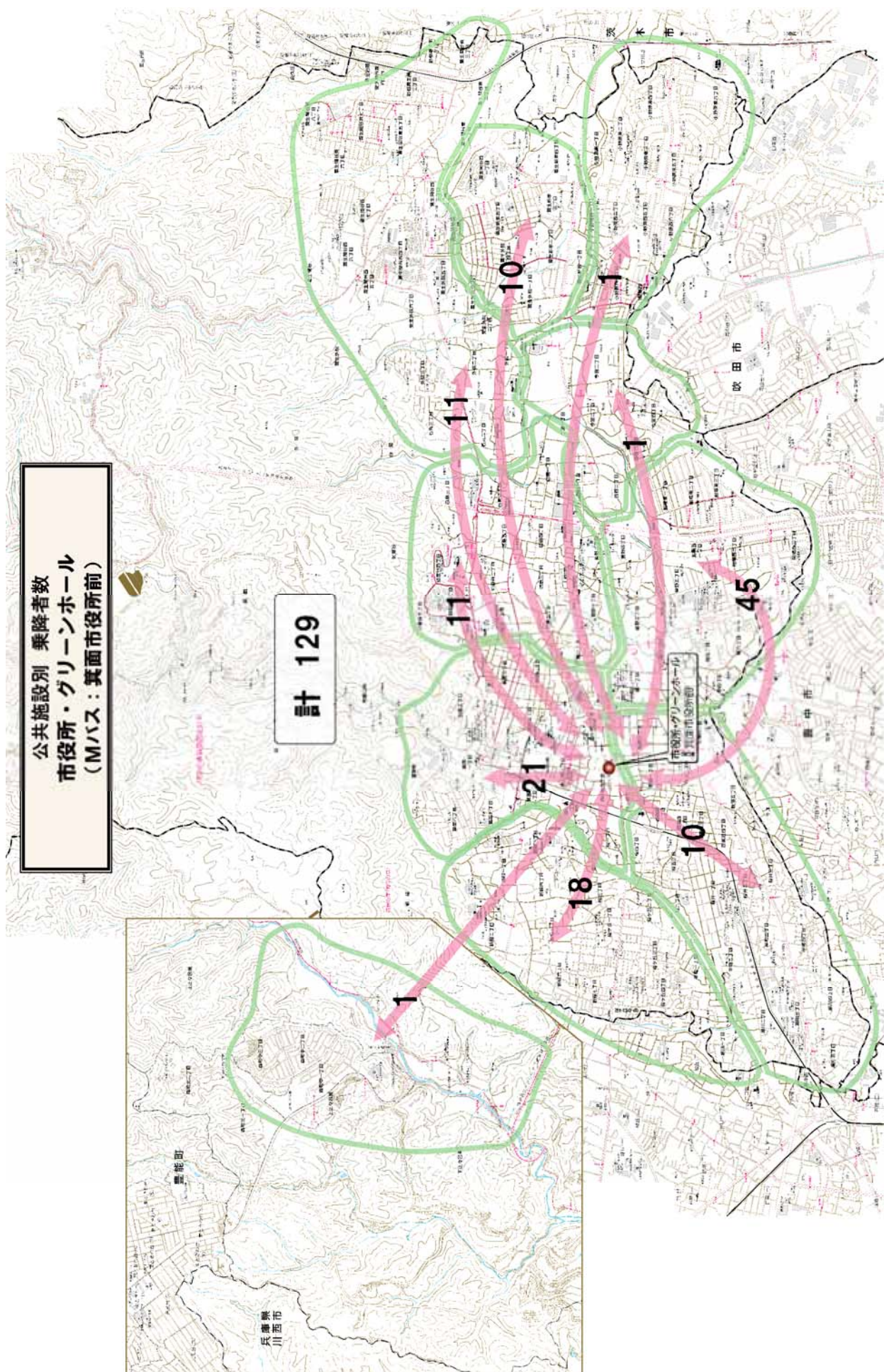


- 箕面市役所・グリーンホール（箕面市役所前）

市内全域から利用されており、中部の国道 171 号南側からの利用が特に多い。

また、Mバス利用者の約 7 人に 1 人（14.7%）が「箕面市役所前」で乗降している。

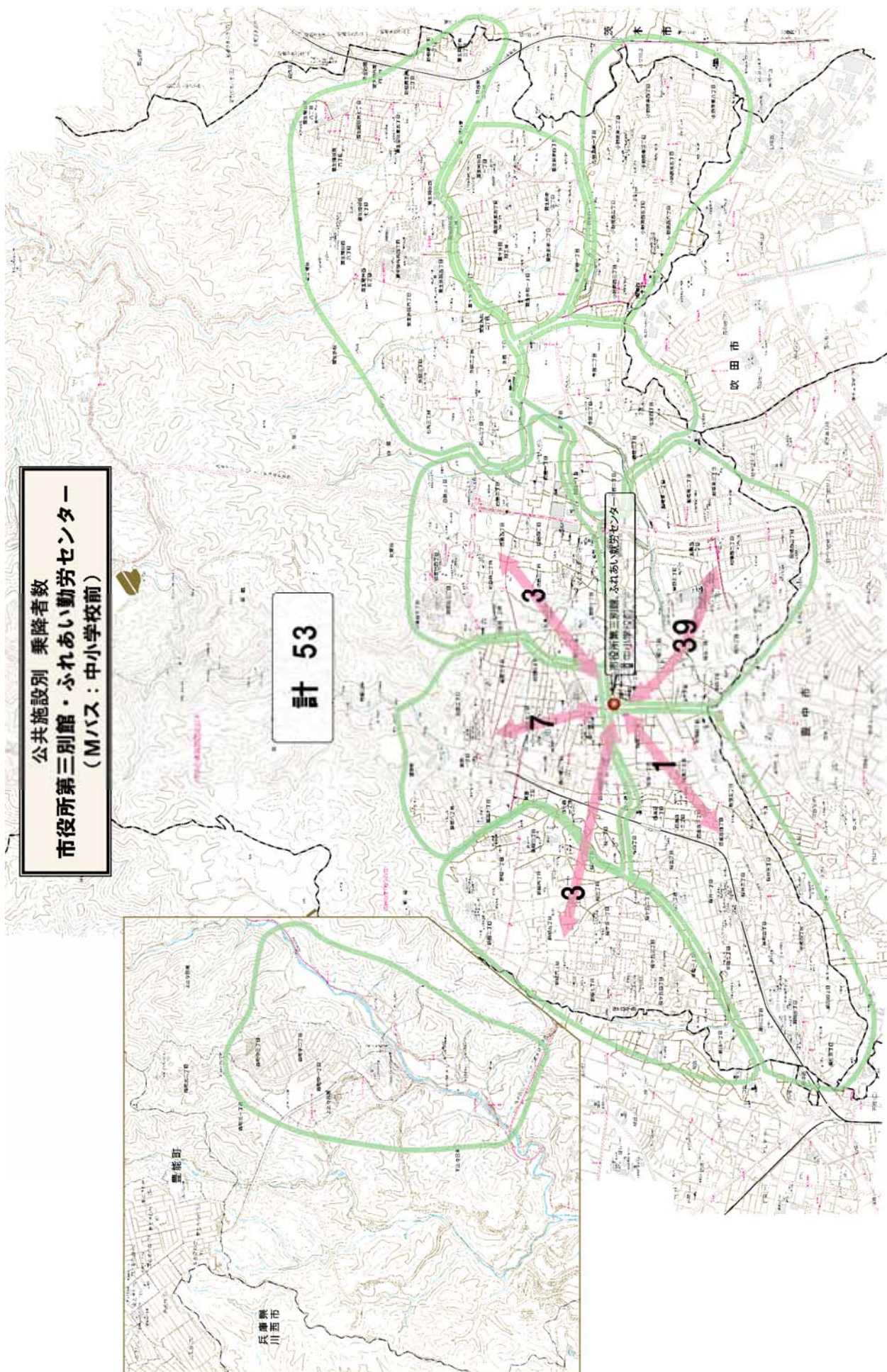
こうしたことから、市内ローカルバス網の検討にあたっては、主要な目的地となり得ることが考えられる。



- **市役所第三別館・ふれあい勤労センター（中小学校前）**

中部の国道 171 号南側からの利用が大半（73.6％）である。東部や北部からの利用者はいない。

こうしたことから、市内ローカルバス網の検討にあたっては、中部からの利用者を考慮することが必要であると考えられる。

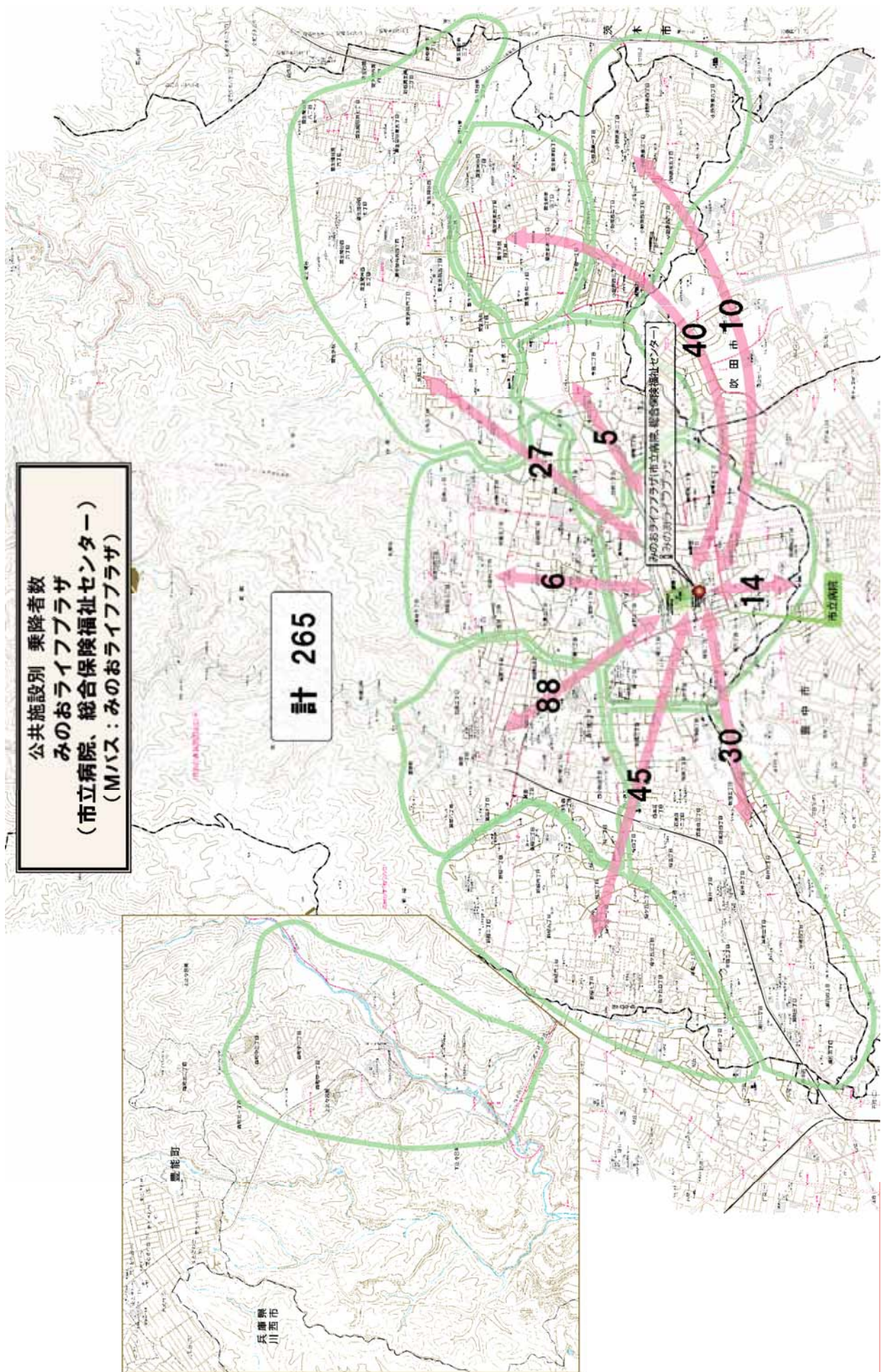


- **市立病院・総合保健福祉センター（みのおライフプラザ）**

市内全域から利用されており、西部と東部からの利用が特に多い。

また、Mバス利用者の約3割（30.1%）が「みのおライフプラザ」で乗降している。

こうしたことから、市内ローカルバス網の検討にあたっては、主要な目的地となり得ることが考えられる。



- **老人福祉センター「松寿荘」(松寿荘)**

市内全域から利用されており、西部と東部からの利用が特に多い。

また、Mバス利用者の3割弱(27.0%)が「松寿荘」で乗降している。

こうしたことから、市内ローカルバス網の検討にあたっては、主要な目的地となり得ることが考えられる。

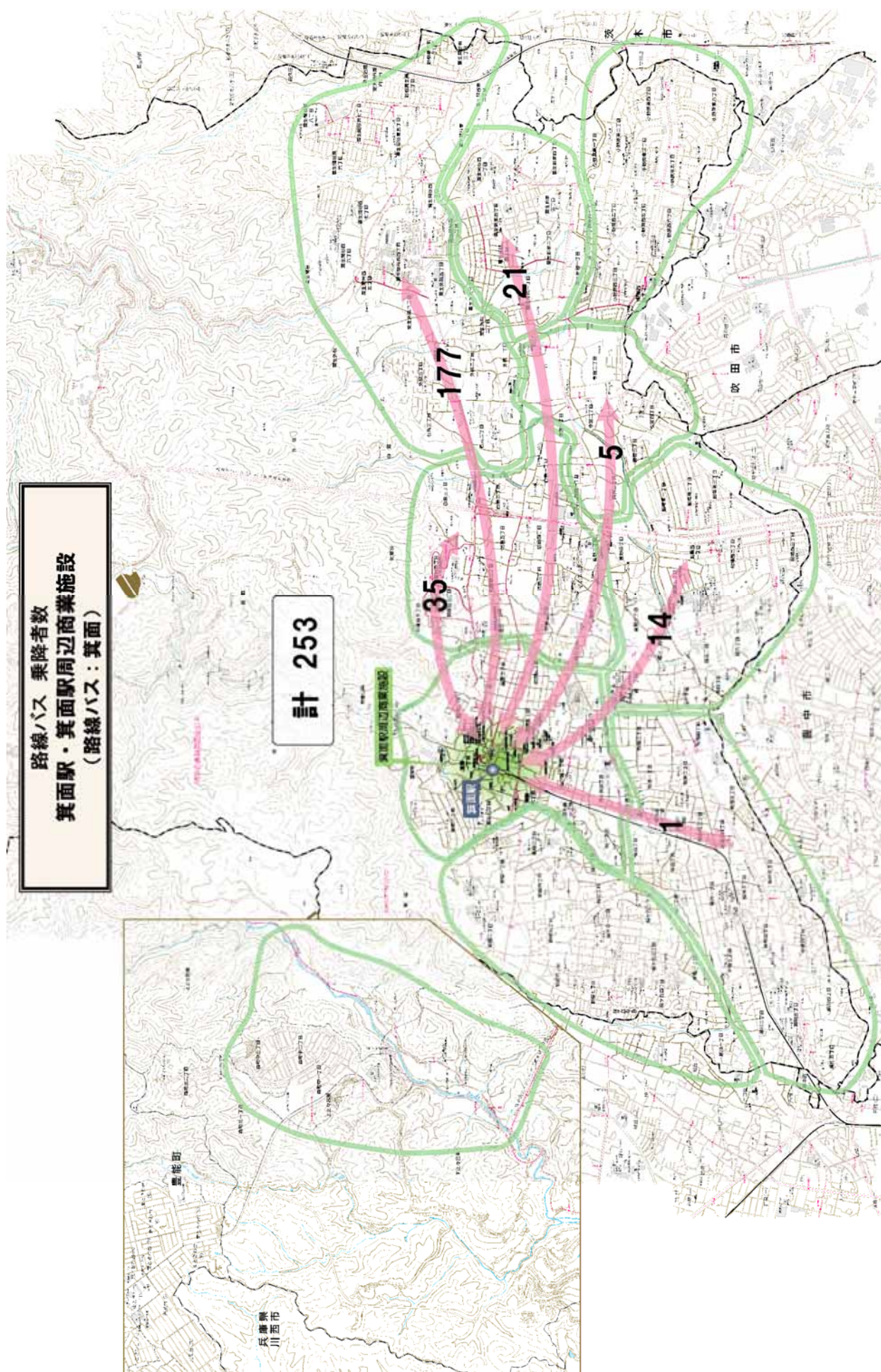
(3) 目的地別乗降者数(路線バス)

- 箕面駅、箕面駅周辺商業施設（箕面）

東部の山麓線沿いからの利用が7割近く（70.0％）と圧倒的に多い。

また、箕面山麓線（循環便）利用者の半数以上（57.5％）が「箕面」で乗降している。

こうしたことから、循環便の利用者の多くも箕面駅での鉄道利用や箕面駅周辺商業施設の利用など、区間便と同様の利用形態であることが考えられる。



2. 自治会意向調査

2.1 概要

目 的：ルート案やダイヤ案（たたき台）に、地域住民のライフスタイルやローカルバスネットワークに関する意向を反映させるため

調 査 日：6月中旬～7月上旬

調 査 対 象：市内の全ての自治会（242 自治会）

調 査 方 法：自治会長に対して質問を実施、郵送にて回収

調 査 項 目：市内を移動するためのバスの充実度
市内を移動するためのバスで不足している内容
地域のそばにあるバス停の位置
バスの利用を促進するための方法

結 果：

回 答 率：75.2%（182 自治会が回答）

傾 向：バスサービスは、西部の丘陵、中部の今宮・西宿地区、東部の小野原地区、北部などでは不足していると感じる人（自治会）が多い。

バスを利用して行きたい場所は、市立病院、かやの中央、箕面駅、市役所、船場団地、箕面駅周辺商業施設などを挙げる人（自治会）が多い。

自治会長各位

平成 21（2009）年 6 月 11 日

箕面市地域公共交通活性化協議会
箕面市地域創造部交通政策課

市内のバス交通に関するアンケート調査について（お願い）

拝啓 初夏の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は箕面市の交通政策に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、箕面市の交通体系は、バスによる市内移動に対して市民満足度が低く、過度に自家用車依存した状況にあります。今後、高齢化の進展により、自家用車の運転を控える市民が増えることが予想されることなどから、公共交通主体のまちづくりへ転換を図るため、市内バス路線網の充実や利便性の向上が必要不可欠です。

そこで箕面市では、公共施設巡回福祉バス（Mバス）と路線バスとの連携又は一体化によって、新たなバス交通網を整備するため、市民・団体、交通事業者、行政等で構成する「箕面市地域公共交通活性化協議会」を設立し、平成 22（2010）年度の実証運行を目指して検討を進めています。

具体的な運行ルート等を検討するにあたり、市民ニーズを反映するために各種の調査を行っています。その一つとして、市内全自治会長様にバス交通に関するアンケート調査を実施することになりました。

つきましては、今回のアンケート調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、お手数ではございますが、ご回答いただきましたアンケート調査用紙は、同封の返信用封筒にて、6 月 30 日（火）までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

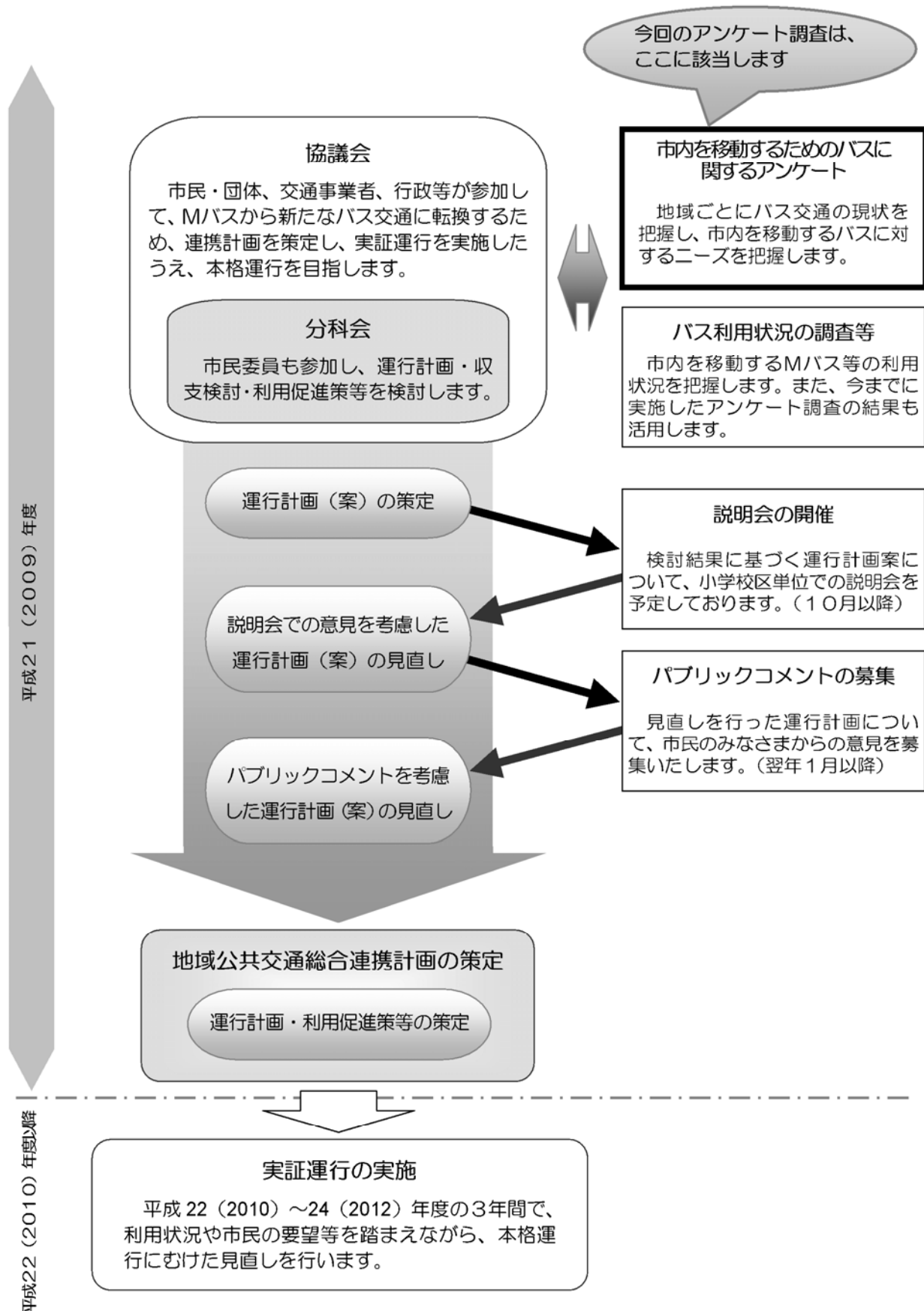
敬具

1. 本アンケート結果の扱いについて

1. 本アンケートは、地域ごとのバス交通の現状把握を目的として行うものであり、各自治会の公式な見解をいただく調査ではありません。
2. ご回答いただいた結果は、複数の自治会が含まれる地域単位での集計を行い、自治会単位の集計として公表することはありません。

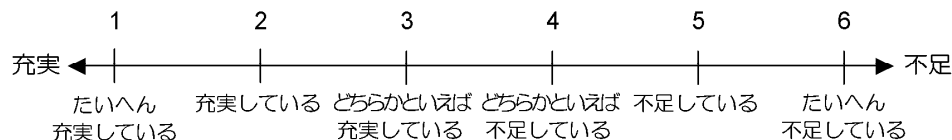
お 問 い 合 わ せ
箕面市地域創造部交通政策課
電話 072 - 723 - 2121（代表）
（担当：中村、村上、土屋）

■ 地域公共交通総合連携計画の策定・実証運行に向けた一連の流れ



市内を移動するためのバス（Mバス・路線バス）に関するアンケート

Q1. お住まいの地域において、市内を移動するためのバスの状況について、どのように感じておられますか。
1つ選んで、数字に○印をご記入下さい。



Q2. お住まいの地域において、市内を移動するバスで不足していると感じられることがあるとすれば、どのような場合ですか。バスを利用する目的、バスに乗っていきたい場所及び、不足していると感じる理由について、最大で3つのケースまで、下の回答群から1つずつ選んでご記入下さい。

（バスの利用目的）（バスに乗っていきたい場所）

（不足していると感じる理由）

（回答例） C で 12 へ行きたいが、 ウ

※ 例の場合は、「買物目的でかやの中央（ヴィソラ）に行きたいが、近くにバス路線（又はバス停）がない」

_____ で _____ へ行きたいが、 _____

_____ で _____ へ行きたいが、 _____

_____ で _____ へ行きたいが、 _____

＜バスの利用目的＞

- A. 通勤・通学
- B. 通院・通所
- C. 買物
- D. その他（具体的に記入して下さい）

＜バスに乗っていきたい場所＞

- 1. 箕面駅
- 2. 箕面駅周辺商業施設
- 3. 牧落駅
- 4. 彩都西駅
- 5. 桜井駅
- 6. 桜井駅周辺商業施設
- 7. 豊川駅
- 8. 小野原周辺商業施設
- 9. 豊川支所
- 10. 栗生間谷周辺商業施設
- 11. 市役所
- 12. かやの中央（ヴィソラなど）
- 13. 松寿荘
- 14. 船場団地（SSOKなど）
- 15. 市立病院
- 16. ライフプラザ
- 17. その他（具体的に記入して下さい）

＜不足していると感じる理由＞

- ア. 運転本数が少ない
- イ. 乗りたい時間に走っていない
- ウ. 近くにバス路線（又はバス停）がない
- エ. 乗り継ぎが必要なので不便
- オ. 公共施設以外のためにMバスに乗車できない
- カ. その他（具体的に記入して下さい）

Q3. 現在、お住まいの地域のそばにあるバスの停留所の位置について、地域からの利用のしやすさ等をふまえ、どう思われますか。1つ選んで、数字に○印をご記入下さい。

1. 現在の位置で問題ない

2. 位置を見直してほしい → （具体的な位置： _____）
（複数箇所可） ※バスマップに記入のうえ返送していただいても結構です。

Q4. 市内を移動するためのバスを利用促進するには、どのようなことをすればよいと思われますか。
あてはまると考えられるものを選んで、数字に○印をご記入下さい。（複数回答可）

- 1. 運行本数を増やす
- 2. 運行時間帯を延長する
- 3. 路線を新設または充実する
- 4. 公共施設以外利用（買物等）で乗れるようにする
- 5. 鉄道に乗り継ぎができるようにする
- 6. バス～バスの乗り継ぎを改善する
- 7. バス停の位置をわかりやすくする
- 8. バスの運行コースや路線図をわかりやすくする
- 9. バス停に雨よけ・ベンチを設ける
- 10. 乗降がしやすいノンステップバスにする
- 11. 決まった時間に目的地に着けるようにする
- 12. その他（具体的には： _____）

（自治会名）

自治会

ご協力ありがとうございました

2.2 集計結果

[項目]

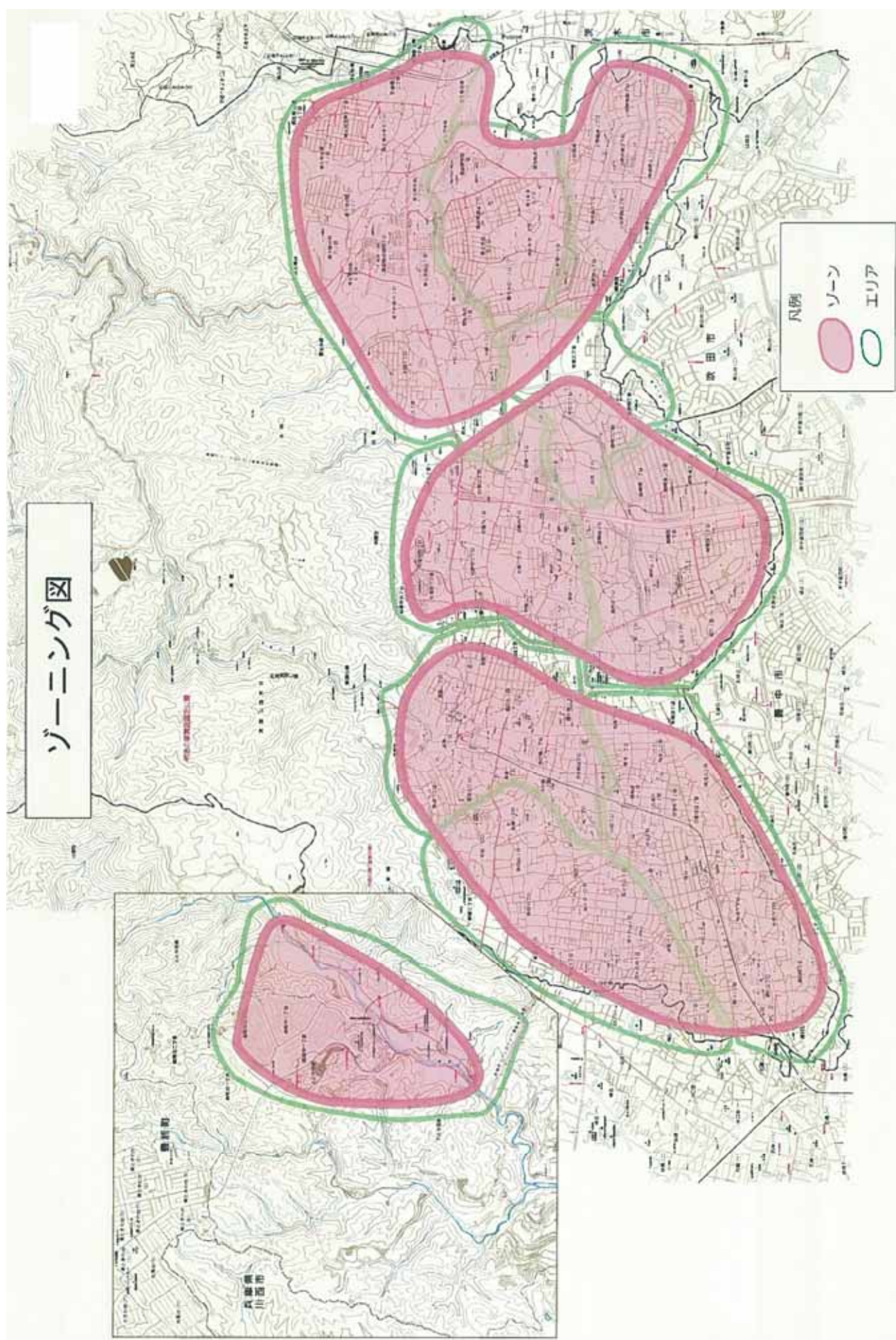
(1) バスサービスの充実度 / バス利用促進策の意向

(2) バスを利用して行きたい場所

- 市内全体
- エリア 1 (西部・丘陵)
- エリア 2 (西部・箕面駅周辺)
- エリア 3 (西部・国道 171 号沿い)
- エリア 4 (中部・国道 171 号北側)
- エリア 5 (中部・国道 171 号南側)
- エリア 6 (中部・今宮～西宿周辺)
- エリア 7 (東部・山麓線沿い)
- エリア 8 (東部・国道 171 号沿い)
- エリア 9 (東部・小野原周辺)
- エリア 10 (北部)

(3) 停留所位置の見直しの要望

なお、集計単位については、市街地を西部・中部・東部に 3 つのゾーンに分け、市北部を合わせた 4 つのゾーンについて、地形や道路・交通環境等を考慮して、さらに 10 のエリアに区分した単位で集計した。(次頁でゾーンニング図 (ゾーンとエリア) を示す)



(1) バスサービスの充実度 / バス利用促進策の意向

●バスサービスの充実度

バスサービスの充実度を充実している（たいへん充実、充実、どちらかといえば充実）と考えている割合は、市内でもバスサービスが充実している中部の国道 171 号北側や東部の国道 171 沿い、鉄道を含めた公共交通サービスが充実している西部の箕面駅周辺や国道 171 沿いで高い傾向にある。

一方、市内ローカルのバスサービスが不足している東部の小野原地区、中部の西宿～今宮周辺、西部の丘陵、北部では不足している（たいへん不足、不足、どちらかといえば不足）と考えている割合が高い傾向にある。

このことから、概ね現行のバスサービスによって、充実度の考えに差が生じていることが考えられる。

●バス利用促進策の意向

バスの利用を促進するための方策は、市内のバスサービスが充実していると考えているエリアと不足していると考えているエリアで傾向が分かれた。

充実していると考えているエリアでは、「バスの増発」や「Mバスの自由な利用」などの意見の割合が高く、さらにバスに乗りやすくしてほしいとの意向が強いことが考えられる。

不足していると考えているエリアでは、「路線の新設・充実」の意見の割合が高く、市内ローカルのバスサービスを改善してほしいとの意向が強いことが考えられる。



(2) バスを利用して行きたい場所

- 市内全体

希望する行き先(目的地)として、市立病院(ライフプラザ)が市内全てのエリアから挙げられ、かやの中央、箕面駅、市役所、船場団地、箕面駅周辺商業施設などが多くのエリアから挙げられた。

このうち、最も多く挙げられた市立病院について、現在のバスサービスを見ると、ほぼ全ての地区からMバスが運行されているため、アクセスそのものについては確保されている。ただし、路線バスと補完し合いながら高い頻度で運行されている地区と運行本数が限られている地区を比較すると、バスサービスの差が非常に大きい。

その他の場所(目的地)について見た場合も、同様にバスサービスに差がある。

このことから、市内ローカルのバスサービスの差を改善していくことが、ひとつの課題として考えられる。

バスを利用して行きたい場所
＜市内全体＞

順位	目的地	回答数	エリア1 西部・丘陵	エリア2 西部・箕面 駅周辺	エリア3 西部・国道 171号沿い	エリア4 中部・国道 171号北側	エリア5 中部・国道 171号南側	エリア6 中部・今宮 ～西園周辺	エリア7 東部・山麓 緑沿い	エリア8 東部・国道 171号沿い	エリア9 東部・小野 原周辺	エリア10 北部
1	市立病院・ライフプラザ	69	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	かやの中央(ヴィノラなど)	59	●	●	●		●	●	●	●	●	
3	箕面駅	49	●			●		●	●	●	●	●
4	市役所	35			●		●				●	
5	船場団地(SSOKなど)	29	●		●	●				●	●	
6	箕面駅周辺商業施設	26	●				●	●	●		●	

●印は、各エリアで10%以上の解答があった目的地

- エリア１（西部・丘陵）

希望する行き先として、かやの中央が特に多く挙げられ、市立病院、箕面駅など主要な公共施設・商業施設・鉄道駅も挙げられた。

西部の丘陵地区は、箕面中央線（８１・８２・８３ 系統）とＭバスの西部コースが補完し合いながら市内ローカルのバスサービスを担っているが、経路上から外れる目的地への移動には、乗り換えが必要な場合がある。また、半町など一部の地区では、バスサービスそのものが不足している。

このことから、バスサービスそのもの、あるいは市内の主要な公共施設や商業施設等へのアクセス改善に対する要望が強いと考えられる。

- エリア 2（西部・箕面駅周辺）

希望する行き先として、かやの中央などが挙げられた。

西部の箕面駅周辺は、千里中央駅への駅アクセスのバス路線（如意谷線 19・20 系統、箕面中央線 81・82・83 系統）が高頻度で運行されており、主要な公共施設や商業施設などの目的に近く、経路上に位置している場合も多いため、バスサービスは充実している。ただし、経路上から外れる目的地への移動には、乗り換えが必要な場合がある。

このことから、中心部間の移動するバス路線や乗り継ぎの改善などのバスサービスに対する要望が強いと考えられる。

- エリア 3（西部・国道 171 号沿い）

希望する行き先として、市立病院、船場団地、市役所、かやの中央などが挙げられた。

西部の国道 171 号沿いは、阪急箕面線（鉄道）や電車茨木や石橋を国道 171 号経由で結ぶ石橋郡山団地線（92 系統）が高頻度で運行されているため、公共交通サービスは充実している。しかし、主要な公共施設や商業施設へ直接アクセスする路線が少なく、乗り換えの必要がある場合が多い。

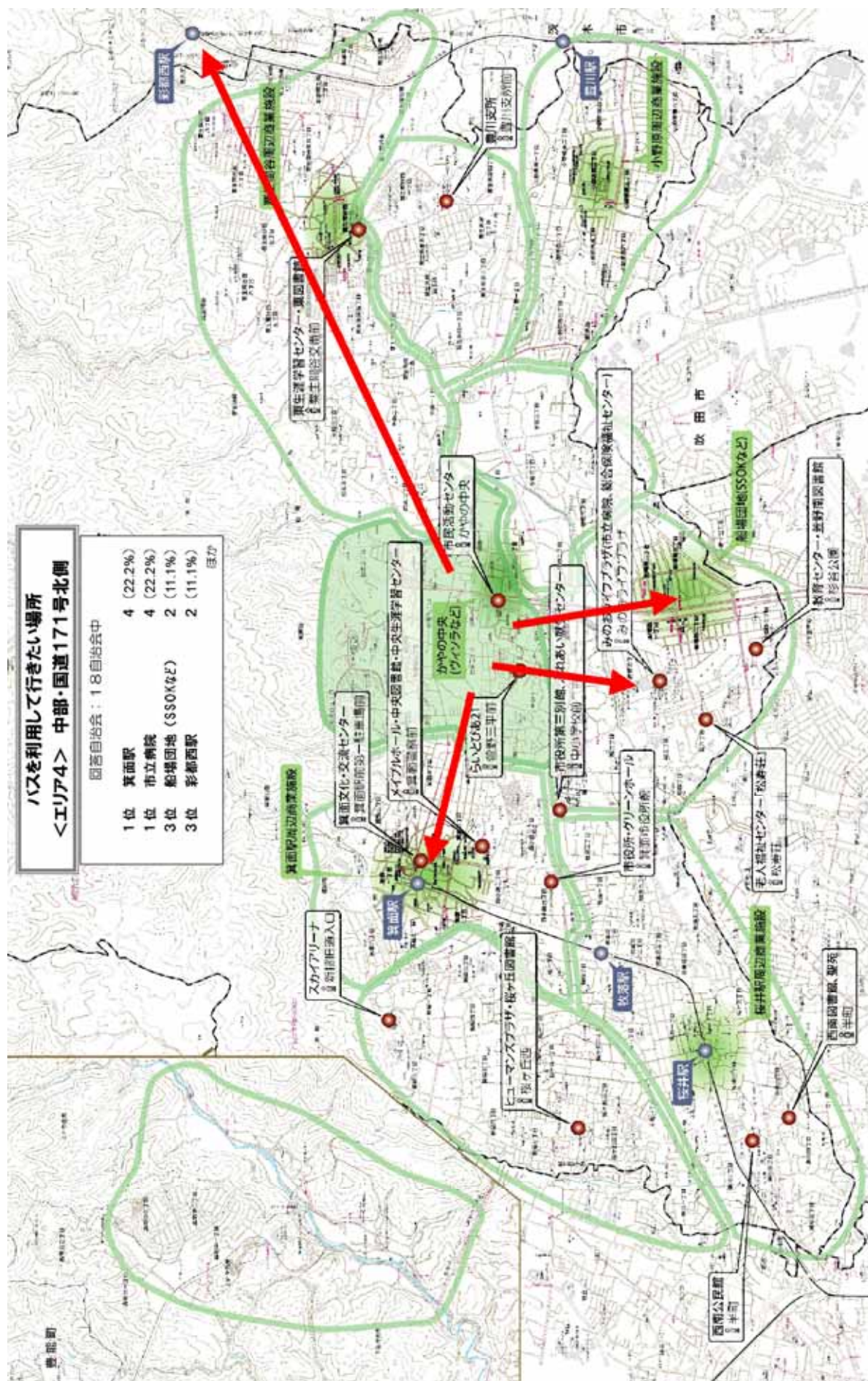
このことから、市内の主要な公共施設や商業施設等へのアクセス改善に対する要望が強いと考えられる。

- エリア 4（中部・国道 171 号北側）

希望する行き先として、箕面駅や市立病院などが挙げられた。

中部の国道 171 号北側の地区は、千里中央駅への駅アクセスのバス路線が多く通過する上、主要な公共施設や商業施設などの目的に近く、経路上に位置している場合も多いため、バスサービスは充実している。ただし、経路上から外れる目的地への移動には、乗り換えが必要な場合がある。

このことから、中心部間の移動するバス路線や乗り継ぎの改善などのバスサービスに対する要望が強いと考えられる。



- エリア 5（中部・国道 171 号南側）

希望する行き先として、箕面駅、かやの中央、市役所などが挙げられた。

中部の国道 171 号南側の地区は、千里中央駅への駅アクセスのバス路線が多く通過する上、主要な公共施設や商業施設などの目的に近く、経路上に位置している場合も多いため、バスサービスは充実している。ただし、経路上から外れる目的地への移動には、乗り換えが必要な場合がある。

このことから、中心部間の移動するバス路線や乗り継ぎの改善などのバスサービスに対する要望が強いと考えられる。

- エリア 6（中部・今宮～西宿周辺）

希望する行き先として、市役所が特に多く挙げられ、市立病院、箕面駅と箕面駅周辺商業施設なども挙げられた。

今宮～西宿周辺のうち、小野原豊中線沿線は、Mバス以外のバスサービスがない地域が点在しているため、駅アクセス、市内ローカルともにバスサービスが不足している。

このことから、バスサービスそのものに対する要望が強いと考えられる。

- エリア7（東部・山麓線沿い）

希望する行き先として、箕面駅が特に多く挙げられ、市立病院、かやの中央など主要な商業施設なども挙げられた。

東部の山麓線沿いは、市内の鉄道駅である箕面駅へのアクセスにも一定の距離があるため、箕面駅アクセスとしてのバス利用のニーズも高いと考えられるが、箕面山麓線（36・37系統）の運行頻度が低く、かやの中央などの市内の主要な施設へのアクセスも路線が設定されていない地区があるなど、バスサービスが不足している。

このことから、市内ローカルのバスサービスの向上、あるいは市内の主要な公共施設や商業施設等へのアクセス改善に対する要望が強いと考えられる。

- エリア 8（東部・国道 171 号沿い）

希望する行き先として、かやの中央、箕面駅、船場団地など主要な商業施設などが挙げられた。

東部の国道 171 号沿いの地区は、北千里や千里中央を結ぶ栗生団地線（55・66 系統など）と茨木や石橋を国道 171 号経由で結ぶ石橋郡山団地線（92 系統）が高頻度で運行されているため、駅アクセスを中心としたバスサービスは市内でも特に充実しているが、市内ローカルについては、Mバスと路線バスの箕面山麓線（36・37 系統）が補完し合っているが、運行本数が少ないなど、バスサービスがやや不足している。

このことから、市内ローカルのバスサービスの向上に対する要望が強いと考えられる。

- エリア 9（東部・小野原周辺）

希望する行き先として、市立病院と市役所が特に多く挙げられ、箕面駅、かやの中央など中部の主要な公共施設や商業施設なども挙げられた。

小野原地区は、千里中央を結ぶ小野原東線（175・176 系統）が高頻度で運行されているため、駅アクセスは充実しているが、市中心部を結ぶ路線については、Mバス以外に運行されていないため、バスサービスが不足している。

このことから、市内の主要な公共施設や商業施設等へのアクセス改善に対する要望が強いと考えられる。

- エリア１０（北部）

希望する行き先として、箕面駅と市立病院などが挙げられた。

北部では、千里中央に直通する箕面森町線（１系統）と池田を結ぶ東能勢線（２６・１３６系統）が開設されているが、市中心部へ直接アクセスできる路線バスが設定されていない。

このことから、市内の主要な公共施設や商業施設等へのアクセス改善に対する要望が強いと考えられる。

(3) 停留所位置の見直しの要望

回答のあった自治会の2割弱から見直しの要望が挙げられた。

具体的な位置について見ると、市西部の国道171号沿線、中部国道171号以南や今宮・西宿地区、市東部の山麓線沿線などから要望が挙げられた。

このうち、小野原豊中線の沿線、箕面森町の住宅内、半町1～2丁目など、現在最寄りにバス路線がない地区では、バスサービスそのものに対する要望が強いと考えられる。また、瀬川や栗生間谷東などバスサービス（行き先）が限定的な地区では、市内移動が可能なバス路線の延伸・経由といったバスサービスの充実に対する要望が強いと考えられる。

